

♪♪♪ 令和2年度早川南小学校だより ♪♪♪

はるき



♪♪♪ 令和3年2月10日

No.35

校長 河西弘明

♪…25thありコン!! 大成功!!!…ご来場ありがとうございました!



「かなでよう ありがとうのメロディ 咲かせよう たくさんの笑顔」…この言葉のとおりになった「ありコン」が、…ついに終わってしまいました。

1年間頑張ってきたのは、2月6日の今年度たった1度のコンサートのためでした。それでも、このコロナ禍の中、開催できましたことに、本当に安堵しています。ご来場くださった皆様に、心より感謝申し上げます。あいさつの中でも申し上げましたが、50年目を迎えたこの吹奏楽活動…その内の回数で見れば、ちょうど半分の期間にわたって、このコンサートが続いてきたことがわかります。純粋なコンサートだけでなく、児童会行事とも絡めて内容が工夫され、新児童会役員の初仕事の機会でもあります。当日の進行だけでなく、会の企画や様々な準備に、休み時間を返上して頑張ってきてくれました。その甲斐あって、素晴らしい活躍でしたね。

一つ、かわいいエピソードとして紹介いたします。このコンサートの発表内容は、下級生がやる内容は6年生には秘密にしておくこと、またそれに対する6年生も、下級生には、演奏曲目をはじめ劇なども内緒にして準備を進めていくということが慣例らしく、お互いが意識して秘密裏に練習していました。ですが、この狭い校舎の中で完全に内緒にすることは難しく、分かれて練習している音で曲名もわかってはいるのでしょうが、子どもたちは知らない体を装っている姿がとても微笑ましくて、その姿を見るたびに私は、心の中でくすっとしていました。それでも、当日初めて正式に見たり聞いたりする演技や演奏、それからお祝いのメッセージや感謝の呼びかけの言葉など、やはり子どもたちには新鮮に、そして感動的に映ったことは、児童の様子を見ると伝わってきました。私は、そのことにも、このコンサートの大切な意義があると感じています。



今年は例年より縮小した内容でしたが、それぞれ、とてもいい演奏でした。

在校生ステージ♪…『ひまわりの約束』…ゆったりとした優しいバラード曲でした。一人一人の音を、しっかり出して、厚い演奏になるよう心掛けました。



「…そばにいること 何気ないこの瞬間も忘れはしないよ
旅立ちの日 手を振る時 笑顔でいられるように…」



歌詞は、6年生に向けての感謝のせりふ、そのものですね…!

🎵6年生ステージ🎵…『彼こそが海賊(パイルツボウカピアンより)』…8分の6拍子の難しいリズムに乗って、



力強く、かっこよく吹けていましたね。さすが6年生という一曲。

『I LOVE…』…髭ダンの大人っぽい曲でしたが、雰囲気が出ていました。

私もパーカッションで参加させていただき楽しかったです。

2曲をつないだ寸劇も、6年生らしい個性があふれて面白かったですね!

🎵全校のステージ🎵…『ビリーブ』…毎年県バンフェスで演奏される6年生の合同演奏の曲目を、今年



は6年生の演奏と全員の合唱でお届けしました。やはり感動的な名曲ですね。

『情熱大陸』…速く、かっこよく、キラキラとした演奏になったでしょうか。2年かけて、の予定でしたが、みんなの頑張りで演奏できました。挑戦してよかった!

保護者の皆様よりいただいた感想を、少し載せさせていただきます。

*練習した成果が発表できたのではないかと思います。上手にできていました。情熱大陸、とても良かったです。コロナで先生方も大変な中を開催していただき、ありがとうございました。

*会場を体育館に変更する等、工夫しながら開催していただきありがとうございました。6年生も、最後のステージができてよかったと思いますし、5年生以下の児童もコンサートができてよかったと思います。



*進行役の2人が堂々としっかりと司会をこなしていて驚きました。新会長の挨拶はとても良かったです。在校生のステージ、よく練習したのでしょう。メロディーが温かく感じられました。6年生はさすがでしたね!演奏が素晴らしかったです。全校発表は、今まで見たものの中で一番良かったです!!体育館で広がっての合唱、それぞれが大きく見えました。マスク越しでも声が大きく上手でした。

情熱大陸、少人数とは思えない迫力でした。一人一人がよい音を奏で一つの音になるって、こういうことなのだと感じました。会場内の飾りつけも温かくかわいく、招待されている気持ちを感じました。

その他、たくさんの心温まるご感想をいただき、感謝いたします。ありがとうございました。



全校全員でないとできない行事、そして気持ちを一つに揃えないとできない演奏、鑑賞していただいた皆様にも感じていただけたことと思います。今回の全校での演奏曲目「情熱大陸」は、私たちの吹奏楽活動への情熱の表れでもありました。音楽を通して感動を共有できることこそ、音楽のもつ最大の魅力です。縁あって、再び本校で指揮をすることのできた喜びは、私にとって宝物になりました。



〈お詫び〉

No.34の記事にある「橋建設」さんは、「立花建設」さんの間違いでした。訂正してお詫びいたします。